12月議会 市政報告

第381回 市議会定例会

12月5日

ける『小さな拠点』としての集落活動センターの整備を進めています。また、都市から地方への新しい『ひと』の流れをつくるために、移住促進策にも力を入れています。本市でも、この国や県の動向を注視しながら、人口減少問題への対処が必要です。国立社会保障・人口問題研究所の試算によると、本市の2040年人口は2010年よりも16.8%減少し、37,832人となると推計され、このまま人口減少が続くと、税収の減少による公共サービスの質・量の低下など様々な問題が懸念されます。本年度より次期総合計画の策定作業を進めていますが、この喫緊の課題である人口減少問題について、少子化対策、雇用対策、住宅対策など、あらゆる分野における施策について全庁体制で検討します。」と述べた後、主要な課題について報告しました。（内容はあらしです）

橋詰壽人市長は、各議案の提案説明に先立ち、「第2次安倍改造内閣の発足にあたり、安倍首相は『景気回復の軌道をより確かなものとし、全国津々浦々まで届けることが次なる内閣の使命。最大の課題の一つが“元気で豊かな地方の創生”だ』と強調し、内閣府に地方創生担当相を新設し、『まち・ひと・しごと創生本部』を発足させました。また、政府は臨時国会に地方創生の関連法案として、『まち・ひと・しごと創生法案』と『地域再生法改正案』を提出し、この2法案を最重要法案として、衆議院解散当日の11月21日に参議院で可決成立しました。具体策はまだ不透明な部分がありますが、地方の自主性を重視し、『やる気のある自治体を後押しする』というスタンスが強く感じられます。高知県では、『地方創生のためには、中山間地域の創生が不可欠』として、中山間地域にお

高知高专との連携事業

津波避難タワー 安否確認アプリ開発

高知高专が津波避難タワー間や市役所との間での避難者情報の伝達などを目的とした津波避難タワー安否確認アプリ「つながりタワー」を開発し、10月に岩手県で開催された「全国高等専門学校第25回プログラミングコンテスト」の課題部門で最優秀賞を受賞しました。高知高专の実用化に向けたシステム構築について、国や県の補助制度を検討し、協力していきます。

水道施設の防災対策計画

津波からの円滑な避難

管路破損箇所の情報提供など、津波からの円滑な避難の確保により、人命の安全や被害の軽減を図るため、津波浸水域内にある水道施設の防災対策計画を9月26日付けで県知事に届出をしました。

次期総合計画の策定

市民アンケートの実施

次期総合計画策定に向けて、市民3千人を対象にアンケート調査を実施し、千44人、34.8

%の方から回答をいただきました。この調査は次期計画に反映させることを目的としており、現在、集計および分析作業を進めています。結果がまとまり次第、市ホームページにて報告します。

中山間地域の交通対策

全域で移動手段の確保

10月1日から瓶岩地区および白木谷・八京地区において予約型乗合タクシーの運行を開始しました。これにより、市内北部中山間地域の全域において移動手段の確保について改善を図ることができました。今後は、利用状況を見ながら運行内容などの改善を図っていきます。

特定健診受診の推進

チーム稲生による受診率向上への取り組み

平成25年度の特定健診受診率は30.6%で、前年度より1.6ポイント上昇しました。10月の稲生地地区の特定健診では、集落活動センター「チーム稲生」による受診率向上への取り組みとして収穫祭が同時に開催され、受診者の増加につながりました。12月13日には「健

康なんこくきらりフェア」が開催されます。健康づくりと医療費の適正化に向けて、市民の皆様が特定健診の受診を啓発していきます。

電気自動車充電設備の設置

市内3カ所を候補地

電気自動車充電設備については、国道沿いや観光施設などの利用者が少しでも多い場所へ設置すべきであると考え、道の駅など市内3カ所を設置候補地として、各管理者のご理解がいただけるよう趣旨の説明を行っています。

後期高齢者医療

1人当たりの医療費が県下2番目に高い水準

平成25年度後期高齢者医療は、1人当たりの医療費が125万9千500円で、前年度より5万円、4.3%増え、県内の自治体では2番目に高い額となっています。また、1人当たりの保険料は6万3千239円で、69%の方が軽減該当者となっています。今後とも後期高齢者医療広域連合と連携を図り、適正な事業運営が行われるよう努めていきます。

都市計画道路

高知南国線・3工区の測量設計に着手

都市計画道路・高知南国線（3工区）の事業化については、10月2日に地元説明会を開催し、南国警察署前の県道南国インター線より東へ市道旧農協病院東線までの間、延長220mの測量設計に着手しました。

米づくり親子セミナー

食育と地産地消のモデル事業として

第18回米づくり親子セミナーの稲刈り体験が10月9日に行われました。本年度は、悪天候により6月の田植えはできませんでしたが、黄金色に実った稲を、久礼田・国府・奈路小学校の児童と保護者が丁寧に鎌で刈り取り、収穫の喜びを親子で体感しました。

農家レストラン・まほろば畑

来客者数3万人を達成

地産地消・安全安心への関心の高まりを背景に、地域の豊富な食材を生かし、生産者と消費者をつなぐ場づくりとして開業した農家レストラン・

大分市「大野川合戦まつり」

合戦ゆかりの自治体と調印式

まほろば畑は、10月21日に来客者数3万人を達成しました。4年目の現在も好評を得ながら、高い集客数を維持しています。

大分市「大野川合戦まつり」

合戦ゆかりの自治体と調印式

11月8日に大分市で開催された「大野川合戦まつり」に出席しました。この祭りは、戦国時代に地元の大友氏の援軍として長宗我部元親・信親をはじめとする四国連合軍が九州に遠征し、島津軍に敗れ、信親と多くの兵士が討ち死にをした「戸次川の合戦」の様子を再現したものです。祭りには、合戦ゆかりの大分市のほか、高松市・高知市・日置市などの自治体が一同に集まり、「戸次川の合戦歴史交流の証」と起請文の調印式を行いました。

障害者自立支援

障害者基本計画および障害福祉計画の策定に向けて

第3次南国市障害者基本計画画および第4期障害福祉計画の策定に向けて、障害者および障害児の保護者へのニーズ

児童の医療費無料化

中学卒業までの受給者証を発行

中学卒業までの医療費無料化について、9月に対象者千382人に申請書を送付し、11月5日現在で千147人から申請を受理し、受給者証を発行しました。未申請の方には、受診機会の際に医療機関などから周知していただくなど、関係機関と連携を図りながら申請勧奨に努めます。

南海トラフ地震対策

合同訓練の実施

高知県内15全消防本部および他の消防機関の参加による「高知県緊急消防援助隊受援・応援合同訓練」が、9月20日から21日にかけて須崎市を中心に行われました。南国市消防本部からは消火部隊として、応援訓練に参加し、野営訓練・消火訓練などの連携活動を実施し、緊急消防援助隊高知県

少年消防クラブ

9小学校、25名で結成

少年消防クラブは、市内9小学校から25名のクラブ員を募り、10月25日に結成式を行いました。すでに、秋季火災予防運動期間中の広報活動を実施し、今後の活動として、消防出初式などへの参加を予定しています。

中学生クラブ活動

香長中学校女子駅伝チーム全国大会出場へ

第65回高新中学校駅伝競走大会では、女子は、香長中学校が2年連続9度目の優勝を、男子は、香長中学校が準優勝、北陵中学校が第4位と、男女共にすばらしい成績を納めました。全国大会に出場する香長中学校女子チームの健闘を期待します。

防災教育

稲生小学校で防災教育講演会

実践的防災教育推進事業の県の指定校である稲生小学校

子ども子育て支援新制度

幼稚園、保育所の入所申込案内・受付開始

平成27年度のならばな幼稚園入園申込案内・受付は11月より、保育所入所申込案内・受付は12月より開始しました。今回の申込みから、「子ども子育て支援新制度」に基づく受付となるため、児童ごとに幼稚園・保育所利用のための支給認定が必要となります。

土佐日記門出のまほろ

国府小学校児童による土佐日記朗読奉納

第31回土佐日記門出のまほろは、11月9日に紀貫之の邸跡、古今集の庭において開催され、国府小学校児童による土佐日記朗読奉納など、土佐日記を記した紀貫之を偲ぶとともに、その功績を顕彰しました。